

バレーボール教室の様子



まちの話題

このページでは、市民の皆さんの活躍やまちの話題などを紹介しています。身近な話題や、広報紙についての意見を、秘書広報課までお寄せください。

スポーツ体験 ミニ電車コーナーも

やわたスポーツカーニバル2026 親子連れなど1,200人超来場

野球やサッカーなど多くのスポーツを体験できる「やわたスポーツカーニバル2026」が10月18日、市民スポーツ公園・市民体育館で開催。親子連れなど1,219人が来場し、会場は多くの参加者で賑わっていました。今年は日本バレーボール協会

(JVA)の公認講師である美馬信彦さんを招いたバレーボール教室を開催。参加者は、ボールを使用した基礎練習を体験し、バレーボールの楽しさに触れていました。教室の終わり、美馬コーチからの「今日のバレーボール楽し

かった人？」の質問には、みんな笑顔で手を挙げていました。また、子どもに大人気のエア遊具や、田辺高校鉄道研究部の協力のもと、ミニ電車コーナーを設置。大人も子どもも一緒になって、スポーツの秋を楽しんでいました。



ミニ電車に乗る田辺高校鉄道研究部員と参加者たち

市民図書館とさくら小学校の交流授業

お気に入りの一冊に夢中

市民図書館の自動車文庫は運行開始から今年で50周年を迎えます。10月6日には、さくら小学校の2・4年生を対象に、自動車文庫や図書館について学ぶ交流授業が行われました。はじめに図書館司書から図書館の利用方法や、市内26カ所にある移動図書館車の停留所について説明がありました。さらに、漫画や障がいのある人も楽しめるバリアフリー図書など、館内にさまざまな本があることが紹介されました。お話の後、この日のために作成した利用カードを手に、いよいよ移動図書館車の中へ。棚いっぱい並ぶ本を前に、児童たちは気になる本を手にとったり、友達と



移動図書館車内での本の貸し出しの様子

見せ合ったりしながら、お気に入りの一冊を夢中で選んでいました。本に親しみ、図書館をより身近に感じる機会となりました。

■11月に記念イベント
運行開始50周年に合わせ、11月に記念イベントを実施します。詳細は13面をご覧ください。



「ずいきみこし」を担いで境内を往復する担ぎ手たち

「いっぺん笑えー」「ワハハ」

御園神社秋祭 「ずいきみこし」巡行

収穫への感謝と五穀豊穡を祈る御園神社秋祭が10月11日、上奈良地区で開催。京都府無形民俗文化財に登録されている「ずいきみこし」が区内を巡行しました。奈良時代、野菜を朝廷に献上していたことにちなんで作られたとされる「ずいきみこし」。区内の老人会が収穫したズイキ(里芋の茎)を始め、今年の干支にちなんだ馬の形を黒ゴマで作るなど、多くの野菜でみこしを飾り付けました。法被姿の大人や子どもたちが

「わっしょい、わっしょい」と元気な掛け声を響かせながら区内を巡行し、同神社へ向かいました。境内到着後「いっぺん笑えー」などの掛け声で、氏子らが「ワハハ」と三唱。続いて、天狗の面をつけた子どもによる「王の舞」と、獅子頭が口を閉じるときに鳴る音の大小で収穫の程度が占われるとされる「獅子舞」が奉納され、最後にみこしが参道を往復すると、集まった観客から拍手と歓声が上がりました。

今月のこの人

市ろうあ協会会長 若い世代の手話通訳者育成に期待



駒崎 洋太さん
令和8年度に八幡市ろうあ協会会長に就任。日本ろうあ自転車競技協会代表理事。市内在住。

「会長になり多くの情報にふれたことで、日々理解が深まっている」と話すのは八幡市ろうあ協会会長に就任した駒崎洋太さん。自転車好きでサイクリングロードのある御幸橋に引かれ、八幡市に移り住み12年活動を続けてこられました。令和7年11月に開催された東京2025デフリンピックの自転車競技では手話による実況・解説を行いました。

現在、協会の会員は16人。会員の高齢化も進み、駒崎さんの就任は若い世代の育成にも繋がると期待されています。「手話通訳者の高齢化も進んでいる。手話での絵本の読み聞かせ(12面右上に関連記事)を定期的に開催し、子どもたちに手話に触れる、知ってもらい機会を増やしていきたい」と、今後の展望を見据えます。駒崎さんは活動を通じ、「地域

の人など多くの人と繋がりができた。繋がりと理解が広まれば情報の共有がすすむ。情報が増えれば楽しみも広がる」と、情報を得ることの大切さを実感し、聞こえないことによる情報格差を感じることはない社会への期待を語りました。

本コーナーでは、市にゆかりのある人物や団体を紹介しています。詳しくは、市ホームページまたは秘書広報課へ。